いなづま

函館港西埠頭からの花火（令和五年七月十六日第二十四回函館港花火大会）　撮影：伊東　照勝

ご挨拶

理事長　大倉　直

去る五月二十六日の第七十五回通常総会において役員改選が行われ、不肖私が再任され、あと二年間理事長を引き受けることになりました。留任されました理事の皆様には引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。又、今回退任されました岩井監事におかれましては、任期中のご苦労に対し厚くお礼申し上げます。

昨年度の決算ですが、主たる収入であります手数料がピークだった平成二十八年度より二五〇〇万円も減少しており過去二十年間で最低の金額となりましたが、函館市からの委託事業の収益や支出もコロナの影響で各親睦事業の中止で減少したことから、かろうじて黒字決算となり、二％の利用分量配当を実施する事が出来ました。最近の函館の観光客の賑わいを見ていますと、世の中は少しずつ明るい方向に向かっているよう感じられますが、我々電気業界は工事量の減少、資材価格の高騰等で暫く厳しい状況が続き、これからも厳しい収支が予想されます。役員の方々をはじめ、組合員の皆様と共に知恵を出し合い、この難局を乗り切って行きたいと考えておりますので組合員皆様の変わらぬ、ご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

さて当組合の本年度の事業ですが、新型コロナウイルス感染症が、五月八日をもって季節性インフルエンザなどと同じく感染症法上の五類へ移行となり、四年ぶりにサン・リフレ函館の総会、函館工業高校インターンシップ、北工連絡会が開催され、親睦事業では大レクレーション大会、ワッショイはこだてへの電線マン音頭での参加で久々に楽しい時を過ごさせて頂きました。いつも青年部の皆様方には事業に対し、ご尽力いただいていることに心より感謝を申し上げます。又、各支部での行事も飲食を伴う親睦会や研修旅行が復活して実施、計画しておりますので、各支部員の積極的な参加をよろしくお願い致します。

北海道電力ネットワークの配電電設工事システム（電設工事ＮＥＴ）が四月十七日から運用を開始しました。電設業務研修会での説明から始まり、伊藤事務局長が講師となり函館の支部から始まり八雲、江差、福島と支部単位で講習会を開催いたしました。組合員の皆様には大勢の方に参加して頂き、概ね理解していただいたとは思いますが、組合として今後につきましてもサポート体制を構築していきたいと思っております。

又、北海道電力のインターネット電設申込システム（電設Ｗｅｂ）は、現在は高圧とエネとくプランなどの低圧の新料金メニューで利用されていますが、従量電灯、公衆街路灯などのすべての従来料金メニューも二〇二四年二月一日から（電設Ｗｅｂ）のみの申込みとなり、従来の紙での申込みの取扱いが出来なくなります。あまりにも急な話なので戸惑う組合員もおられると思いますが、北海道電力も今回の変更に伴いサポートセンターを開設して対応するようです。組合もこれから講習会、説明会を開催していきたいと思います。十月一日よりインボイス制度が始まり、何かと忙しい中、組合員の皆様にはご苦労をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

七月に国連のグテーレス事務総長の『地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した』という言葉が世界を駆け巡りました。今年の夏はまさに言葉どおりで、世界の平均気温が観測史上最高となり函館も三十五・四度と過去一五一年でもっとも暑い夏となりました。熱中症警戒アラートが連日発表されるなど異常な暑さでした。今年は秋を飛び越えていきなり冬がやってくるような雰囲気ですので、日常の健康管理には充分留意して頂きたいと思います。最後になりますが、組合員の皆様の無事故無災害でのご活躍を心より念願しご挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第一回役員会　五・五・九

一、経過報告
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
　(1) 組合員の異動
　(2) 定期健康診断の実施結果について
　(3) 令和五年度（第七十五回）通常総会について
　(4) 道工組令和五年度総代会について
　(5) 第三回役員会及び北工連絡会の開催について
　(6) 事務局職員の賞与の支給について
　(7) 事務局長の選任について
五、事業委員会事項
　(1) 電設業務研修会の開催結果について
　(2) 二級引込線工事士・限定低圧計測器工事士認定講習・認定試験の開催結果について
　(3) イルミネーション工事決算報告について
　(4) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催について
　(5) 二級引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について
　(6) 北電ネットワーク・組合連絡協議会の開催について
　(7) 函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習の受入について
六、その他
　(1) 令和四年度青年部活動及び決算報告について
　(2) 道工組親善ゴルフ大会について
　(3) 管外工事取扱い規定の改定について
　(4) 第三十五回電気工事業全国大会について

第二回役員会　五・五・二十六

一、経過報告
　㈱川瀬電工代表者ご尊父逝去
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
　(1) 令和五年度（第七十五回）通常総会の開催について
　(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について
六、その他
　(1) 令和五年度第七十五回大レクリエーション大会について
　(2) 函館港まつりについて

第三回役員会　五・六・十六

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
　(1) 令和五年度（第七十五回）通常総会の開催結果について
五、事業委員会事項
　(1) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催結果について
　(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について
　(3) 安全大会の開催について
六、その他
　(1) 道工組親善ゴルフ大会について
　(2) 函館港まつりについて

第四回役員会　五・八・十八

一、経過報告
　㈱辻電工代表者病気見舞い
　昭和電設工業㈲代表者病気見舞い
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
　(1) 組合員の異動
　(2) 第二十八回大レクリエーション大会の開催結果について
　(3) 「いなづま」一五四号の発行について
五、事業委員会事項
　(1) 二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技

能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について
(2) インターンシップの実施結果について
(3) 安全大会の開催結果について
(4) 港まつりへの参加結果について
(5) 第一種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催について

六、その他
(1) 道工組改革ワーキング委員会について
(2) 第三十五回電気工事業全国大会について

組合行事

3月31日　検満業者打合せ会議
4月3～5日　定期健康診断（組合＝二一六名受診）
10日　青年部第一回役員会
11日　北海道電力㈱関連工事安全協議会　函館配電部会定例協議会に伊東副理事長出席（北電ＮＷ道南統括支店）
全日　西部支部会議
19日　北部支部総会
20日　道工業組合第一回役員会に大倉理事長出席（道電気会館）
全日　北電ＮＷ・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席（道電気会館）
25日　東部支部総会
27日　西部支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（組合会議室＝二十二名受講）
28日　八雲支部創立五十周年記念祝賀会
全日　検満業者打合せ会議
5月8日　組合期末監査
全日　正副理事長・事務局長会議
9日　第一回役員会
10日　道工業組合監査（書面監査＝土谷副理事長）
全日　北部支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（組合会議室＝二十三名受講）
11日　道工業組合第二回役員会（オンライン会議＝大倉理事長・土谷副理事長出席）
16日　東部支部会議
全日　東部支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（組合会議室＝二十四名受講）
全日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝九名受講）
17日　西部支部会議
全日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝九名受講）
18日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝九名）
20日　江差支部総会
22日　北部支部会議
全日　渡島支部総会
全日　青年部第二回役員会
26日　第二回役員会
全日　第七十五回通常総会（本人出席五十七名）
31日　検満業者打合せ会議
6月6日　道工業組合第三回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（札幌ビューホテル大通公園）
全日　道工業組合通常総代会に大倉理事長ほか総代十名・伊藤事務局長出席（札幌ビューホテル大通公園）
10日　青年部通常総会（プレミアホテル―ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館）
13日　八雲支部安全パトロール
14日　大レクリエーション大会担当特別委員会
全日　第一回青年部例会
16日　第三回役員会
全日　北工連絡会・連絡協議会（組合会議室＝北電ＮＷ九名・組合十三名出席）
21～22日　二級引込線工事士安全技能講習（組合会議室・北電資材管理跡地＝九十七名受講）
29日　函館地区中小企業団体事務長会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤル）
30日　検満業者打合せ会議
7月2日　第二十八回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼＝二五一名参加）
5～7日　函館工業高校インターンシップ現場実習（組合七事業所ほか三企業・団体、生徒四十名）
6日　全道事務局長会議に伊藤事務局長出席（道電気会館）
11日　渡島支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（組合会議室＝十八名受講）
13日　道工業組合臨時役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
18日　函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に作並青年部長・伊藤事務局長出席（サンリフレ）
19日　港まつり担当特別委員会
25日　安全大会（組合会議室＝八十七名出席）
27日　八雲支部安全大会（北電八雲ネットワークセンター＝二十三名出席）
全日　八雲支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（北電八雲ネットワークセンター＝二十三名受講）
28日　江差支部安全大会（北電江差ネットワークセンター＝十五名出席）
全日　江差支部会議
全日　江差支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（北電江差ネットワークセンター＝十五名受講）
全日　検満業者打合せ会議
29日　東部支部会議・納涼会
8月2日　函館港まつり「ワッショイはこだて」（二一一名参加）
4日　福島支部安全大会（北電福島ネットワークセンター＝九名出席）
全日　福島支部電設工事ＮＥＴ取り扱い講習会（北電福島ネットワークセンター＝八名受講）
7日　北部支部会議・納涼会
18日　第四回役員会
全日　道工業組合改革ワーキング委員会函館支部検討会議
25日　第二十回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦（十勝カントリー倶楽部＝八名参加）
31日　検満業者打合せ会議
9月7日　北電ＮＷ・組合合同安全パトロール（北電ＮＷ二名・組合三名）
13日　第一種電気工事士定期講習（プレミアホテル―ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館＝四十九名受講）
14日　第一種電気工事士定期講習（プレミアホテル―ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館＝四十七名受講）

第七十五回　通常総会開催

令和五年度第七十五回通常総会は、今春、新型コロナウイルスの感染症分類が二類から五類へ変更されたことから、開催の方式を対面で、会場についても組合会議室ではなく、駐車場の広さ、来場のしやすさから、サン・リフレ函館にて開催されました。

令和五年五月二十六日午後一時三十分、伊藤事務局長より開会宣言がなされ、ついで、組合員の本人出席が五十七名、委任状出席が八十名であるという総会出席者状況の報告、大倉理事長の挨拶の後、㈱外山電工外山尋久氏（北部支部）を議長に選出し議案の審議に入りました。

提出した議案については、

第一号議案
令和四年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（案）について

第二号議案
令和五年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

第三号議案
令和五年度役員報酬について

第四号議案
令和五年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第五号議案
令和五年度一組合員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組合員のためにする債務保証の最高限度額の決定について

第六号議案
任期満了に伴う理事及び監事の改選について

第七号議案
北海道電気工事業工業組合総代及び推薦委員の選出について

第一号から第五号議案、また、第七号議案まで、事務局より内容説明の後、審議され、原案のとおり可決されました。

第六号議案の役員改選については、指名推薦の方法で実施され、平成二十九年から六年間、監事を務めていただいた、岩井電気工業㈱岩井秀義氏（渡島支部）が退任されました。そのほかの役員は全員留任したのに加え、㈲金子電気田中邦浩氏（渡島支部）が新たに監事に就任しました。

全ての議事が終了し、午後三時十分、議長は閉会を宣言し令和五年度通常総会は終了しました。

総会閉会後開催された、臨時役員会で大倉理事長・伊東副理事長・土谷副理事長が正副理事長に再任され、二期目の大倉理事長体制が発足しました。

新職員の紹介

大宮合稀

この度、組合事務所で働かせていただくことになりました大宮合稀と申します。三月に函館工業高校の電気情報工学科を卒業して、四月から勤務することになります。

最初に自己紹介をさせていただきます。趣味は釣りで、ブリなどの青物からホッケなどの根魚まで幅広く釣りを楽しんでいます。また、特技は、卓球で中学校から高校まで続けていました。

私が主に担当するのは、資材管理と箱板修繕の業務です。三月からの研修となり、研修期間が短い中で覚えることが沢山あるため職場の先輩方から教えていただきながら、家でも勉強しながら努力しています。これから組合事務所で働かせていただく中で、組合員の方々に沢山迷惑をかけることがあると思います。しかし、一日でも早く一人前になって、職場の方々、組合員の方々のお役にたてるように努めさせていただきます。

組合は仕事のほかに楽しそうなレクリエーションや港まつりへの参加がありますので、積極的に参加していきたいと思っております。

社会人一年目なのでまだまだ分からないことが多いですが、一日一日を大切にして沢山のことを学んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

第二十八回 大レクリエーション大会

さる七月二日、第二十八回大レクリエーション大会がグリーンピア大沼にて開催されました。新型コロナの影響で三年続いて中止となったため、今大会四年ぶりの開催となりました。

今年度は、六月に開催された例会にて青年部が組合に集まり、大会運営について意見交換を行いました。四年の間に青年部メンバーも入れ替わり、今回初めて大会に参加する若手部員もいる中、ベテラン部員を筆頭にして、今大会の成功のため準備を進めてまいりました。

開催日当日の天候は曇りで、お昼を過ぎてから一時雨の予報が出ていましたが、何とか持ちこたえてくれという祈りが通じ、屋外にて実施する運びとなりました。日差しが少ないため涼しく、比較的過ごしやすい一日だったかと思います。会場設営も順調に進み、準備が整ったところで大会はご案内通り十時に開会をし、作並青年部部長の開会宣言、大倉理事長の挨拶、北海道電力ネットワーク株式会社の喜多村執行役員道南統括支店長のご来賓挨拶を頂戴した後、ラジオ体操で体をほぐし、いよいよ競技開始となりました。

前回からの競技の変更点としては、『ぐるぐるパン食い競争』を一新し、全員参加の『ぐるぐる障害物競争』を行いました。五人一組で一斉にスタートし、ぐるぐるバットをしてから、トンネルをくぐったあと、縄跳びでゴールを目指す競技で、お子さんたちの懸命な走りには感動が生まれ、大人たちの本気のぐるぐるバットによる必死の走りには大きな笑いが生まれ、笑いあり涙ありと大変盛り上がりました。

アトラクション部門では、青年部お手製の『電撃イライラ棒』や『ペットボトルロケット』、『サイバーホイール』や『輪投げ』などの遊具を設置し、常に家族連れで賑わっている印象で、多くのお子さんに楽しんでいただけたのではないかと思います。

食事では前回に引き続き、今年も北斗市久根別中華料理『香港』さんに協力をお願いし、焼きおにぎり二個、ハンバーグ、エビフライ、唐揚げなど盛りだくさんのランチプレートを提供していただきました。特にお子さん達に大変好評だったと聞いております。

全ての競技が終了し、閉会式では、大会委員長の土谷副理事長より北海道電力ＮＷ、電材およびメーカー各社、その他協賛していただいた関係各社に対しての御礼と青年部への労いの言葉が述べられ、大盛況のうちに今大会は終了しました。

四年ぶりの大会開催ということで、競技進行に多少不備もありましたが、全体を通して参加された皆様には楽しく過ごしていただけたのではないかと思います。来年度はまた、今大会の反省点を踏まえて競技内容やアトラクション内容などを再度検討し、さらに楽しんでいただける大会にできるよう青年部一丸となって取り組んでまいります。

私自身、このレクリエーション大会には私が小学生にも満たない頃から参加していますが、現在三十四歳にして運営側として携わっていることに、この大会の長い歴史を肌で感じました。電気工事関係各社の皆様、およびそのご家族が一堂に会して交流する数少ない機会であるこのイベントを、これからも大切にしていきたいと思います。

函館地方電気工事協同組合　青年部
理事　工藤　雅美

函館港まつり「ワッショイはこだて」

令和五年八月二日、開港一六四周年函館港まつりワッショイはこだて十字街・松風コースに当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。

今年度は新型コロナウイルスの規制緩和により四年ぶりとなる参加でした。パレードを盛り上げるべく組合員は立ち上がり、今年こそはパレード審査で優勝したい！他の山車には負けない！我々が一番輝いているんだ！我々電気業界はコロナに負けない!!という気持ちで今年度の港まつりのテーマを『負けない光』と決定し、パレードを盛り上がりよう、楽しもうじゃないかと計画していきました。

パレードが行われる八月二日に向けて着々と準備を進め、山車の電飾取付工事は七月三十一日、八月一日の二日間にわたって行われ、日中の暑い中、また暗くなるまで青年部員達が一致協力し完成にこぎつけました。完成した電飾できらびやかに光る山車を見て、今年こそは優勝するかもという思いが込み上げてきました。

八月二日パレード当日、午後五時三十分、二一一名の参加者が集まりだし、おにぎりでお腹を満たし、喉を潤し（アルコールを摂取し）電線マンが続々と集結しパレードの出発を待つ中、今年は久々の開催ということもあり順位や賞が無いとの衝撃的な情報が入りました。それでも!!賞など関係なくパレードを楽しもうじゃないかと作並青年部長より檄を飛ばされ、ほろ酔い多数の中いよいよパレードのスタートです。

今年は青年部長となり初のＭＣマイクを握る作並部長、参加者達を鼓舞しパレードは順調に進んでいきますが、やはり四年ぶりの『ワッショイはこだて』のパレードということもあったのか、皆さん函館駅前のメイン通りに差し掛かる前に疲れが感じられます。パレードが進むと徐々に増えてくる沿道の方々の声援に励まされ、また、声が枯れていくＭＣに鼓舞され函館駅前のメイン通りに差し掛かると電線マン音頭も最高潮に。感動と興奮が冷めやらぬ中、ゴールにたどり着き、パレードも終了。沿道の方々にも我々のパフォーマンスを喜んでいただけたのではないかと思いました。

その後、直会の会場、プレミアホテル―ＣＡＢＩＮ ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館へと移動し、多数の料理とまたまたアルコールを摂取し、抽選会でまた一つ盛り上がっていただき直会も終了。燃え尽きた顔の同志がいたことに参加して良かったなぁと、また来年も是非参加したいと思いました。今年度は順位や賞が無かったため、念願である優勝はできなかったのですが、来年こそ念願である優勝で作並部長に華を持たせてあげたい！と考えております。

最後に、ご参加いただいた組合員とそのご家族の皆さま、ご協賛いただいております電材問屋各社並びにメーカー各位に紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

函館地方電気工事協同組合　青年部
理事　渋田　十夢

令和五年度　安全大会

高温多湿な気候となり、感電事故等が増える八月は経済産業省で『電気使用安全月間』として定められており、各所で電気使用についての安全に対する様々な取り組みが行われています。

当組合でもこの『電気使用安全月間』に合わせ、七月末から八月上旬にかけて組合本部・八雲・福島・江差の各支部において、令和元年以来、四年ぶりとなる安全大会を開催しました。

函館本部での安全大会では、来賓の北海道電力ネットワーク㈱道南統括支店の及川配電工事グループリーダーより挨拶を頂戴し、安全講話では、谷口特

定社会保険労務士が『建設業における働き方改革』と題して、また、北海道電力ネットワーク㈱道南統括支店の大高配電工事副長からは事故事例等を中心とした『安全について』をそれぞれご講話いただきました。

最後に青年部の越田恭平氏（越田電気）が安全宣言を行い、八十七名が出席した函館本部の安全大会が閉会しました。

また、八雲支部は七月二十七日（二十三名出席）、江差支部は七月二十八日（十五名出席）、福島支部は八月四日（九名出席）に各地区の北海道電力ネットワークセンターにおいて開催され、今年度の安全大会は終了しました。

函館工業高校電気情報工学科インターンシップ

今年度も函館工業高校より当組合に対し、電気情報工学科生徒のインターンシップ現場実習受入要請がありました。今年度の電気情報工学科では二十六名が電気コースとなり、当組合として函館の電気業界のさらなる発展・人材育成の為、インターンシップ現場実習受入に協力することとし、七月五日から七日までの三日間、実施致しました。ご協力頂きました組合員の皆様には厚く御礼申し上げます。

初日はまず組合大会議室にて大倉理事長よりご挨拶、伊東副理事長より安全講話をして頂きました。服装、ヘルメット、の指差し確認、現場における時間の厳守、夏場におけるこまめな水分補給の大切さについてご指導頂きました。安全講話終了後は、バスにて太平洋セメント上磯工場へ移動しました。太平洋セメントでは、新型コロナウイルス感染防止対策としてバスで工場内を移動しながらの見学となりました。

太平洋セメント上磯工場の後は昼休憩ののち、北海道電力知内発電所へ向かいました。知内発電所では、紹介ＤＶＤの鑑賞ののち所内を歩いて回り屋上から燃料タンクなどを見学させて頂きました。

二日目、三日目は各事業所へわかれて現場実習を行いました。ご多忙の中ご協力頂きました組合員の皆様には厚く御礼申し上げます。

ご協力頂いた組合員

■大倉電気株式会社
■日東電気工事株式会社
■都市電気株式会社
■日興電気株式会社
■樺電工業株式会社
■梶原電気工業株式会社
■北海電気工事㈱函館支店

新加入組合員の紹介

令和五年度加入の組合員を紹介いたします。

公電気株式会社（渡島支部）

中村優文

昭和五十八年九月二十日生

北斗市向野三丁目二―四

電話　〇一三八―七七―八一四〇

推薦人―㈱小林電機・都市電気㈱

（加入年月日＝令和五年五月二十三日）

二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）

二級引込線工事士・低圧計測器工事士の安全技能講習が令和五年六月二十一日、二十二日に北電ネットワーク㈱道南統括支店配電工事グループ様のご協力のもと座学を組合会議室、実技は北電資材管理跡地を会場として開催されました。受講者は二日間で九十七名でした。座学では最初にスマートメーターの知識を深めるために、関連する練習問題を実施し終了後この問題についての解説を行いました。また引込線工事士運用要領、引込線計測器工事施工会社認定規定についての講義を行い、近年の状況を鑑みて、計測器工事士と限定低圧計測器工事士に関して適用工事の範囲とその資格の取得方法についての解説時間を例年より若干多く行いました。

近年の高齢化による体力の低下などにより引込線工事士資格の必須条件である無墜落昇降柱訓練が難しくなって来ている方も見受けられるようになってきています。今後引込線工事を施工しない方、あるいは他の方に依頼できる方は計測器工事士へ移行されることをご検討下さい。

次に北電ネットワーク㈱道南統括支店配電工事グループ様より、安全に関する事項やスマートメーターのセキュリティに関しての講義をいただきました。年々セキュリティに対しての知識と対策が益々重要となってきており、受講者の皆様も真剣に受講されておりました。講義では実例をあげられて説明され、例えば撤去などで取り外したスマートメーターについてはセキュリティの観点からその取扱に十分注意するとともに速やかに返却していただきたいとの強い要望がありました。実技では北電ネットワーク様のデモンストレーションの後に各班に分かれて無墜落昇降柱訓練を実施いたしました。すでにフルハーネスの着用が義務付けられてから二年目に入っており、多くの受講者はその取扱には慣れてきており概ねスムースに訓練ができました。しかし講義の中では注意事項として、フルハーネスの特性上、低いところでの使用方法に十分注意してしっかりと落下防止をする事というご指導をいただきました。

今回ご多用中の中、講師を務めて下さいました北電ネットワーク㈱道南統括支店配電工事グループの皆様には紙上を借りてお礼申し上げます。

北電ネットワーク配電工事グループ・組合検満計測器取替工事合同安全パトロール

令和5年9月7日、北電ネットワーク配電工事グループと工事組合の低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールを実施いたしました。北電ネットワーク配電工事グループから二名、工事組合からは三名が参加し、北電ネットワーク道南統括支店管内の施工会社四社の検満工事の現場をパトロールしました。

各社の施工に対する北電ネットワークからの評価は概ね良好だったように思います。車両を駐車する場所、タイヤの輪止めやセーフティーコーンの設置などの公衆安全に対する気配りや充電部の防護や配線状況の確認など短絡や誤配線へのリスクに対する配慮も良好であったように思います。函館市内を担当する組合員は、今回パトロールした四社とも以前からほぼ同じメンバーで施工してきているため、施工品質は一定程度高いのだろうと思いますが、一方で新しい技法や工具への取り組みがやや保守的ではないかと思います。

工具に関していえば、㈲丸伊イトウ電気商会さんが今回使用した無停電装置は、計測器の電源側・負荷側のケーブル、六線または四線を一度に挟み込むタイプになっております。混みあった配線の場合、タコ足型の無停電装置を使用すると計測器の最も内側の配線、3Sと3Lの接続を誤るリスクがあり、ここ数年の当組合で起こった検満工事における不適切事象はほぼこれに当たります。この挟み込む無停電装置は、3S・3Lの誤配線に対して有効であり、また、タコ足型に比べ施工のスピードが格段にUPします。しかし、イトウ電気さん以外はあまり使用していないようなので、検満施工会社の皆さんには良いものは積極的に使用していただきたいし、我々も使用の推奨をしていきたいと思います。

今年はいよいよ国が定めたスマートメーターの取替期限の最終年となっており、12月末までに全ての誘導型計器をスマートメーターに取り替えることとなっています。残された時間は短く、スマートメーター導入当初に設置が遅れた機種が残されていますので、残さ

れた台数は多いですが、より安全に留意され施工されることを望みます。

今回は、検満計測器取替工事の現場のみでしたが、今後は引込線工事や他の支部の検満工事の安全パトロールも実施していきたいと考えておりますので、その際にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

お悔やみ

令和五年
五月二十二日　㈱川瀬電工代表者ご尊父
川瀬廣康殿ご逝去
六月二十五日　スナハラ電気㈱代表者ご母堂
砂原サト殿ご逝去

組合員の異動

◎ **代表者の変更**

	（新）	（旧）
一、青函電気㈱	代表取締役　植田　賢司	山下　堅一
一、㈱北弘電社函館支社	支社長　川瀬　晋介	澤登陽出彦

◎ **住所変更**

一、大鎌電気㈱
（新）函館市赤川町五七六－二
（旧）函館市美原三丁目三六－五

◎ **脱　退**

一、㈲沢田電気工事	令和五年四月二十日
一、㈱明和電設	令和五年六月三十日
一、㈲ヤマト電気工業所	令和五年七月二十日
一、昭和電設工業㈲	令和五年八月二十日

編集後記

「レベニューキャップ制度」。最近よく耳にする言葉です。聞きなれない言葉ですが、我々電気工事組合員は、この新たな託送料金の新たな制度の仕組みを少しでも理解しておく必要があると思い、一筆とらせていただきます。

この「レベニューキャップ制度」は、新託送料金の制度として二〇二三年四月より施行されました。それまでは、「総括原価方式」と言われる制度で運用されており、この制度は送配電業務に要する費用に一定の利益を乗せた金額として定められてきました。

二〇一六年四月より電力自由化が行われましたが、この送配電業務は極めて公益性が高いために全国において送配電会社（北海道は、北海道電力ネットワーク㈱）が、独占的に運用していますが、この総括原価方式にはいくつかの問題点がありました。一つ目は一定の利益が確保されているため、送配電会社にとって不要な支出が増えてしまう危険性があること、二つ目は、経営効率化を実施したとしても託送料金の値下げとして反映されるため、自社の利益に繋がらないため、送配電会社のコストカットに対する意欲が抑えられてしまう可能性があることでした。今後、再エネを積極的に導入していくためにも、送配電設備を増強していくことは非常に重要です。また、日本の送配電設備は老朽化が進んでおり、それらの維持更新にかかる費用も今後必要不可欠です。一方、送配電設備の増強にかかる費用は託送料金として最終的に需要家が負担することとなるため、送配電会社の経営効率化により、託送料金を可能な限り安く抑えることが求められます。これら「送配電設備の増強」と「経営効率化」は、総括原価方式だと送配電会社の経済的メリットが小さく両立が難しく、これらを実現するために導入されるのが「レベニューキャップ制度」となります。

「レベニューキャップ制度」を簡単に説明すると〝収入の上限を一定期間（五年）固定するので、送配電会社はその中でやりくりしてもらい経営効率化等を実施すればそのまま会社の利益になる〟というものです。「収入上限」を五年固定するため、五年のスパンにおいて送配電会社は利益確保のため、コストカット等を行うインセンティブが与えられます。ただし、「収入上限」を超えて過度に利益を得ていないかどうかは期間中も審査されます。

そして、五年の期間が終わった後は、次の五年の「収入上限」の審査が行われます。その際、送配電会社によるコストカット等の効果が出ていれば、次の五年の「収入上限」は下がり、その分託送料金が安くなって、需要家の電気料金が安くなるのです。

このように各送配電会社が国の審査を受け、四月より北海道電力ネットワーク㈱では以下の託送料金に決定致しました。

【一キロワット時あたり平均単価】

	値上げ幅（概算）	新単価（概算）
●低圧	＋〇・七七円／ｋＷｈ	一〇・〇二円／ｋＷｈ
●高圧	＋〇・　六円／ｋＷｈ	四・八一円／ｋＷｈ
●特別高圧	＋〇・一二円／ｋＷｈ	二・八三円／ｋＷｈ

以上となりますが、我々組合員も北電ネットワーク様の業務を行っていく上で、この新たな仕組みを少しでも理解していただければと思います。

（Ｔ・Ｔ）

題字　小寺寛一（第二代理事長）

発行所　函館地方電気工事協同組合
編集　いなづま編集委員会
住所　函館市日乃出町７番22号
印刷所　龍文堂印刷株式会社

あしたの光で〝ここちよい〟を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道営業部函館営業所

〒040-0001
函館市五稜郭町一-十四　五稜郭114ビル三階
TEL　五一-六〇〇二
FAX　五一-六〇二四

Panasonic

パナソニック㈱エレクトリックワークス社

北海道電材営業部
函館電材出張所

〒041-0808
函館市桔梗三丁目三四-一六
TEL(〇一三八)四七-六三三三
FAX(〇一一)七四七-三八〇六

kawamura

河村電器産業株式会社

北海道支店函館駐在所

〒040-0011
函館市本町六-五　協和函館ビル三階
TEL(〇九〇)六四八七-六三九三
FAX(〇一三八)三三-七四三七

北海道支店
〒003-0006
札幌市白石区東札幌六条一丁目二-三〇　札幌三信物流ビル四階
TEL(〇九〇)六五二九-九〇三八
FAX(〇一一)八二二-〇五〇四

ISHIGAKI

ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

石垣電材株式会社

本　社　〒060-0006
札幌市中央区北六条西一三丁目一番地
☎(〇一一)二一〇-五二二一番

函館支店　〒041-0824
函館市西桔梗町五八九番地三一五
☎(〇一三八)四九-六二一一番

八雲営業所　〒049-3104
二海郡八雲町内浦町二三四-五
☎(〇一三七)六三-三二六九番

未来環境を語る・造る

エミヤエリアパートナーズ株式会社

函館営業所

〒041-0824
函館市西桔梗町五八九-四九
電話　四八-五七五一(代表)
本社　札幌・営業所　釧路、苫小牧、小樽

TANAKA CO.,LTD

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

〒040-0072
函館市亀田町一三番八号
電話　四〇-〇八〇〇
本社・東京　営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸

株式会社

新光照明

〒040-0024
函館市高盛町七番一号
TEL(〇一三八)五五-〇六六三(代)
FAX(〇一三八)五五-〇八一〇